

新たな地域福祉計画の策定に向けたアンケート調査

ご協力をお願い

日頃より健康づくりと福祉の推進について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、日高市では、「支え合いで、共に生き、誰もがつながる地域づくり」を基本理念とした第3次日高市地域福祉計画を平成31年3月に策定し、計画的な地域福祉施策の展開に努めておりますが、この計画の期間が令和5年度をもって終了いたします。

このため、次期計画の策定に当たり、市内在住の方を対象に地域を取り巻く環境や地域福祉に対する意見をお伺いし、計画立案に役立てたいと考え、アンケート調査をお願いすることといたしました。ご多用中のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、皆さまからのご回答内容は統計的に処理し、計画策定の基礎資料としてのみ使用いたします。個々にご記入いただいた調査票を公表するなど、個人が特定されるようなことは決してありません。

令和4年9月 日高市長 谷ヶ崎 照雄

地域福祉とは？

「地域福祉」とは、障がいの有無や性別、年齢、国籍、生活状況などの異なる様々な人たちが抱える生活上の課題を、自分たちが住んでいる地域という場所を中心に考え、地域全体で取り組み、誰もが住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進める活動のことです。

《はじめにお読みください》

1. この調査票は、市内にお住まいの18歳以上の方のうち無作為に抽出して選んだ1,500名の方を対象としてお配りしています。調査票には現在（令和4年9月）の状況をあて名のご本人がご回答ください。ご本人がご記入できない場合は、ご家族の方がご本人のお考えを聞きながらご記入ください。
2. 質問によって選んでいただく数を（○は1つ）、（○はいくつでも）などと指定していますので、質問の内容をお読みいただきお答えください。また、「その他」とお答えの方は、その内容を（ ）内に詳しくご記入ください。
3. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ **9月26日(月)まで**に無記名でご投函ください。（切手は不要です。）
4. この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いします。

《お問い合わせ先》 日高市 福祉子ども部 生活福祉課 地域福祉担当

電話：042-989-2111（代表） FAX：042-985-4444

あなたとご家族についておたずねします。

問1 あなたとご家族についてお答えください。(それぞれ当てはまるものに○)

(1) 性別	1 男性	2 女性	3 その他
※答えたくない方は○をつけなくてもかまいません。			
(2) 年齢	1 10歳代	4 40歳代	7 70歳代
	2 20歳代	5 50歳代	8 80歳代
	3 30歳代	6 60歳代	9 90歳代以上
(3) 職業	1 会社員	6 パート・アルバイト	
	2 公務員・団体職員	7 家事専業	
	3 自営業・自由業	8 学生	
	4 農林水産業	9 無職（年金生活者など）	
	5 派遣社員	10 その他（ ）	
(4) 世帯の状況	1 ひとり暮らし	4 三世帯（親と子と孫）	
	2 夫婦のみ	5 その他	
	3 二世帯（親と子）	（ ）	
(5) 同居家族の状況 （ご自身も含め、 <u>当てはまるもの全てに○</u> ）	1 就学前の児童	8 障がいのある方	
	2 小学生	9 妊娠中の方	
	3 中学生	10 ひとり親家庭の方	
	4 高校生	11 閉じこもりや引きこもりの方	
	5 65歳以上の方	12 生活に困窮している方	
	6 75歳以上の方	13 地域で見守りや支援が必要な方	
	7 介護が必要な方	14 その他（ ）	
(6) 居住地区	1 高麗	3 高麗川	5 高萩
	2 武蔵台・横手台	4 高根	6 高萩北
(7) 住居形態	1 一戸建て・長屋建て	3 その他	
	2 集合住宅（マンションなど）	（ ）	
(8) 居住年数	1 4年以下	3 10年～19年	5 30年～39年
	2 5年～9年	4 20年～29年	6 40年以上

お住まいの地域についておたずねします。

問2 あなたにとって「自分の地域」と感じるのはどれくらいの範囲ですか。（○は1つ）

1 自宅周辺の近隣	3 学区の範囲	5 その他
2 自治会・町内会の範囲	4 日高市全域	（ ）

問3 自分の地域の住みやすさについて総合的にどう感じますか。（○は1つ）

1 住みやすい	3 どちらともいえない	5 住みにくい
2 まあ住みやすい	4 やや住みにくい	

問4 自分の地域や周辺の環境についてどう思いますか。(それぞれ当てはまるものに○)

	そう思う	まあそう思う	あまり そう 思わない	そう 思わない	分からない
①あいさつや世間話を交わすなど近隣関係が良好だ	1	2	3	4	5
②子どもから高齢者まで住民による交流が活発だ	1	2	3	4	5
③手助けや見守りが必要な人が多い	1	2	3	4	5
④手助けや見守りが必要な人への関心が強い	1	2	3	4	5
⑤困ったときにはみんなで助けあう雰囲気がある	1	2	3	4	5
⑥地域における支え合い活動が展開されている	1	2	3	4	5
⑦住民が気軽に集える場所がある	1	2	3	4	5
⑧周辺施設が高齢者や障がい者の利用に配慮されている	1	2	3	4	5
⑨防災・防犯・交通など安全対策が充実している	1	2	3	4	5
⑩食料品の買い物で不便や苦労がある	1	2	3	4	5

問5 どのような近所づきあいをしていますか。(○は1つ)

1 お互いに家を行き来するような仲の良い人がいる 2 家を行き来するほどではないが、会えば話をする人がいる 3 あいさつ程度である 4 近所づきあいはない	→下の付問1へ
--	---------

付問1 あまり近所づきあいをしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 仕事などで家をあけることが多く、会う機会がない 2 近所づきあいはわずらわしいので避けている 3 近所づきあいをしたいが、きっかけがない 4 近所づきあいは重要とは思っていない 5 近所づきあいのほとんどない所である 6 その他 ()

問6 自分の地域で行われている行事や活動などに参加していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 お祭り、盆踊りなど | 8 健康づくりなどの介護予防の活動 |
| 2 体育祭 | 9 老人クラブ活動 |
| 3 清掃・美化活動 | 10 障がい者の福祉活動 |
| 4 防犯・防災活動 | 11 趣味などの生涯学習活動 |
| 5 子ども会活動 | 12 その他の自治会活動 |
| 6 子育て支援活動 | 13 その他 () |
| 7 地域交流・サロン活動 | 14 活動はしていない |

問7 地域活動や行事が活発に行われるには、何が大切だと思いますか。(〇は3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1 住民同士が困ったときに、助け合う関係を作る |
| 2 住民同士の交流の機会を持てる行事などを増やす |
| 3 自治会活動を活発にする事業などを増やす |
| 4 子ども会、老人クラブなどの活動を活発にする |
| 5 集会所など地域活動が行える場所の整備をする |
| 6 学校や公民館、地域の団体や事業者などと住民との交流の機会を増やす |
| 7 その他 () |

日常生活や福祉の課題についておたずねします。

問8 普段親しい人が身近にいると感じますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|---------|
| 1 とても感じる | 3 あまり感じない | 5 わからない |
| 2 ある程度感じる | 4 ほとんど感じない | |

問9 日頃どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 健康に関すること | 7 老後の暮らしに関すること |
| 2 収入など経済に関すること | 8 地域とのつながりに関すること |
| 3 仕事や生きがいに関すること | 9 災害に関すること |
| 4 住まいや生活上の問題に関すること | 10 その他 () |
| 5 子育てに関すること | 11 特にない |
| 6 介護に関すること | |

問10 悩みや不安などがあるとき、どこ（だれ）に相談をしますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1 家族・親戚 | 11 地域包括支援センター |
| 2 近所の人 | 12 障がい者相談支援センター |
| 3 友人・知人 | 13 自立相談支援センター |
| 4 職場の人 | 14 社会福祉協議会 |
| 5 民生委員・児童委員 | 15 福祉ボランティアやNPO |
| 6 学校や保育所・幼稚園など | 16 インターネット |
| 7 医療機関 | 17 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス） |
| 8 福祉サービス事業者 | 18 誰に相談したらよいか分からない |
| 9 市の窓口や市民相談 | 19 その他（ ） |
| 10 地域子育て支援センター | 20 誰にも相談しない |

問11 日常生活を送る上で手助けしてほしい（行ってほしい）と思うことがありますか。（〇はいくつでも）

- | |
|--------------------------|
| 1 通院、買い物などの外出の手伝い |
| 2 洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援 |
| 3 ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事 |
| 4 見守り・安否確認 |
| 5 日常的な話し相手・困ったときの相談相手 |
| 6 急病などの緊急時の手助け |
| 7 子どもの預かり |
| 8 気軽に行ける自由な居場所づくり |
| 9 子どもの通学路の見守り |
| 10 その他（ ） |
| 11 特にない |

問12 高齢者や障がいのある人、子育てをしている人などが必要な支援を受けることができるようにするためには、どのようなことが必要だと思いませんか。（〇はいくつでも）

- | |
|------------------------|
| 1 気軽に立ち寄れる地域活動拠点場所 |
| 2 何でも相談ができる地域住民による相談窓口 |
| 3 様々な相談先の情報提供 |
| 4 地域の見守りと相談機関へのつなぎ機能 |
| 5 様々な相談を一本化した総合相談窓口 |
| 6 福祉サービス事業者や従事者の質の向上 |
| 7 その他（ ） |

問13 健康や福祉に関する情報で役に立っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1 日高市の広報紙・ホームページ | 6 テレビ、新聞、書籍からの情報 |
| 2 社会福祉協議会の広報紙・ホームページ | 7 インターネットからの情報 |
| 3 公共施設に置いてあるパンフレット | 8 SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)からの情報 |
| 4 家族や友人・知人などからの情報 | 9 その他() |
| 5 公民館などの講座 | 10 特にない |

問14 「ケアラー」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 よく知っている | 3 聞いたことはあるがよく知らない |
| 2 ある程度は知っている | 4 全く知らない |

問15 「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 よく知っている | 3 聞いたことはあるがよく知らない |
| 2 ある程度は知っている | 4 全く知らない |

ケアラー・ヤングケアラーとは？

「ケアラー」とは、高齢、障がい、疾病などにより援助を必要とする親族など身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話や援助をしている方であり、そのうち18歳未満の方を「ヤングケアラー」といいます。

地域福祉を進めるための取り組みについておたずねします。

問16 あなたと福祉との関わりは、次のどれに当てはまりますか。(〇はいくつでも)

- 1 福祉の仕事をしている
 - 2 民生委員・児童委員の活動をしている
 - 3 自治会、住民自治組織などの活動をしている
 - 4 ボランティアやNPO活動をしている
 - 5 地域のサロンや見守りなどの活動をしている
 - 6 地域の防犯・防災活動をしている
 - 7 その他の福祉活動 ()
 - 8 いずれの活動もしていない
- 下の付問1へ
- 下の付問2へ

付問1 活動するきっかけはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

- 1 地域をより住みやすくしたいから
- 2 社会や人のためになる活動がしたいから
- 3 知識や技術を身に付けたいから
- 4 新たに友人や知人を得たいから
- 5 自分の生きがいや健康管理に役立つから
- 6 持ち回りの当番制となっているから
- 7 友人や知人に誘われたから
- 8 その他 ()

→付問2 地域で活動していない主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

- 1 学校、仕事、家事などが忙しくて時間が取れない
- 2 育児や介護を必要とする家族がいる
- 3 家族や職場の理解が得られない
- 4 活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない
- 5 身近に活動グループや仲間がいない
- 6 活動する情報がない・少ない
- 7 健康に自信がない
- 8 活動のための費用を負担できない
- 9 興味を持てる活動がない
- 10 活動する上での人間関係がわずらわしい
- 11 地域になじめない
- 12 その他 ()
- 13 分からない

問17 あなたは、身近な地域での住民同士の支え合いは必要だと思いますか。(○は1つ)

1 思う →下の付問1～3へ

2 思わない →次の問18へ

付問1 身近な地域で住民同士が共に支え合い、助け合うために、どのようなことが必要だと思いますか。(○は5つまで)

- 1 地域の支え合い、助け合い活動の意義・重要性の普及啓発
- 2 住民同士の支え合い、助け合い活動ができる体制づくり
- 3 地域で取り組まれている活動の情報提供・情報発信の充実
- 4 地域での相談支援体制の充実
- 5 住民同士の活発なふれあい活動や相互扶助活動の促進
- 6 ボランティア活動の機会の充実と活動への支援
- 7 学校や社会教育の場での福祉教育の充実
- 8 地域福祉活動を率先して行う熱心なリーダーの育成
- 9 その他 ()

付問2 あなたが手助けできると思う地域での支え合い活動は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 通院、買い物などの外出の手伝い
- 2 洗濯や食事の準備などの日常的な家事支援
- 3 ごみ出しや電球の交換などのちょっとした力仕事
- 4 見守り・安否確認
- 5 日常的な話し相手・困ったときの相談相手
- 6 急病などの緊急時の手助け
- 7 子どもの預かり
- 8 気軽に行ける自由な居場所づくり
- 9 子どもの通学路の見守り
- 10 その他 ()
- 11 特にない

付問3 地域での支え合い活動をより活発にしていく上で必要な条件はどのようなことだと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 好きなときに活動できること
- 2 子どもや見守りの必要な家族を預かってもらえること
- 3 自宅に近い場所で活動できること
- 4 活動時間がそれほど長くないこと
- 5 同世代の人が多いこと
- 6 くわしい知識や高度な技術を必要としないこと
- 7 お金がかからないこと
- 8 その他 ()
- 9 特に条件となるものはない

